

藤波こども園

令和6年度 園長だより No.10

令和7年3月17日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

卒園 おめでとう さようなら またあう日まで



26名の月組のお友だち、そして保護者のみなさま、卒園おめでとうございます。園ではたくさんの仲間と一緒に活動し、そしてお家では一番の理解者である保護者の方に見守られ、それぞれがすすくと成長されました。4月からは次のステージでますます成長されることをお祈りします。

在園児から「おめでとう！」

～ 卒園式リハーサル ～



卒園式には出席しない星組、花組、雪組の子どもたちがリハーサルに参加し、月組のお兄さん、お姉さんを祝福しました。月組の子どもたちが「ピリブ」を上手に歌い、修了証書を受け取る姿を見て、星組、花組、雪組の子どもたちからは「かっこいい」「歌が上手」と感想を言っていました。何人かの子どもたちから「おめでとう」と祝福され、「ありがとう」と応える姿に子どもたち同士のつながりを感じました。

別れを惜しむ子どもたち

～ ホームお別れ会 ～

各ホームで

花組、星組の子どもたちが準備し、「つきぐみさん いままでありが



とう だいすき ぱーてーいー」などと称してお別れ会を行いました。手作りのプレゼントをもらった月組の子どもたちは喜びながらも別れを惜んでいる様子でした。各ホームでみんなが一緒に遊び、その日はお弁当デーで、遊戯場や園庭にシートを敷いて、みんなでお昼ごはんを楽しんでいました。



くつきの森を案内

月組から星組へ

～年下の子への思いやり～

月組の子どもたちが春と秋に訪れていた「くつきの森」に、星組の子どもたちと一緒にいき、遊べる場所などを子どもたち同士で引継(?)しました。雪が残っていてそり遊びなども楽しみましたが、「丸太の一本橋はどこ?」「鹿のブランコに乗りたい」など、星組の子どもたちはホームで聞いていたことを現場で月組のお兄さんお姉さんに案内してもらいながら楽しんでいました。

今回の遠足については事前指導の中で最低限のこと(服装、水筒の持参など)だけを示し、持ち物は月組の子どもたちから星組の子どもたちに教えることとしました。そして、もし現場で困ったことがあれば子どもたちにその様子を投げかけ、月組から星組に救いの手を出してくれることを期待しました。すると、その場面が帰ろうとしたときに起こったのです。星組の1人の男の子が、濡れたスキーウェアを入れる袋がなくて困っていました。そこで2人の保育者が「〇〇ちゃん、濡れた服を入れる袋がないんだって」「えー、どうしよう」それを聞いた1人の月組の男の子が「僕、袋を持ってるよ」と言ってカバンの奥からナイロン袋を出して、困っていた

星組の男の子に渡してくれたのです。

これも縦割り

保育の成果でしょうか。「年下の子への思いやり」が代々に受け継がれていくように思いました。



「4月が待ち遠しいなー」

ホーム交流の雪組

雪組の子どもたちが4月から生活するホームを訪れ、お兄さんお姉さんと一緒に遊んだり、ホームにあるおもちゃで遊んだりしました。新しい環境に興味津々で、4月を待ち遠しくしている様子でした。



お世話になりました

3月末で退職することとなりました。藤波こども園のやさしくて素直な子どもたちと過ごした毎日は私の宝物です。温かく見守っていただき、ありがとうございました。



宮崎 春香
(結婚して県外で暮らされます)

藤波幼稚園に1期生で入園し、移転してから運転手として12年間、みなさんのおかげで無事に園児の送迎を終えることができました。ありがとうございました。



中江 武良
(運転手のお仕事を退職されます)

3月末から産休に入らせていただきます。みなさんの支えにより、これまで勤めることができました。また復帰後に元気な子どもたちに会えることを楽しみにしています。



清水 侑奈
(出産のためしばらくお休みされます)